

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市加茂町文化センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 名 称 一般財団法人津山市都市整備公社 代表者 理事長 谷口 智（H25.4.1～高山文秀）
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部文化課
(4) 指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日
(5) 評価対象期間	平成25年4月1日 ～ 平成26年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	12,684人（前年度13,114人）
(2) 事業の内容	・施設管理業務及び自主文化事業等 （自主文化事業の内容） ピアノリレーコンサート、加茂郷コンサート、エスペリアフェスタ、 星を観る会、クリスマス会、ハロウィンイベント、にぎわい寄席 ・年間稼働率70.5%（前年度71.0%）

3 収支の状況

(1) 収入 （指定管理者の収入）	総額 16,747千円（前年度16,171千円） 指定管理料 13,650千円 利用料金収入 1,114千円 自主事業収入 1,929千円 その他の収入 54千円
(2) 支出 （指定管理者の支出）	総額 17,607千円（前年度17,316千円） 主な支出 人件費 3,224千円 光熱水費 3,585千円 修繕・消耗品費等 1,190千円 委託料（施設管理） 4,389千円 事業費（自主事業） 4,097千円 公租公課 320千円 その他 802千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、意見箱を常設し広く意見を求めている。また自主事業等の際にもアンケート調査を行い、反省材料と今後の事業展開の参考にしている。現況では、「利用に際しては、概ね満足している」との評価を受けている。
(2) 指定管理者の自己評価	加茂町文化センター運営委員会を開催し、地元住民の意見等を取り入れ、地域の特性を生かした文化事業を推進するとともに、昨年度と同じく津山加茂郷フルマラソンのプレイベントとして津山加茂郷コンサートを開催した。また、昨年のアンケート結果を参考に市民ニーズを踏まえて、11月に落語家、お笑い芸人によるにぎわい寄席を開催し、各種事業ともに好評であった。施設管理面では、昨年度に引き続きデマンド管理による節電を行い経費削減に努めた。また、施設の老朽化による修繕箇所が散見されるので、順次修繕を行った。これらのことから、良好に業務を推進したものと評価するが、継続的に収支が赤字となっているので、次年度以降は赤字改善に努めたい。

(3) 市の評価	平成25年度においては、昨年も好評であった加茂郷フルマラソンのプレイベントを開催したり、施設内でのイベントを増やしたりと指定管理者のアイデアは感じられたが、全体的な利用者数への効果には反映されていないようだ。 経営状況は、昨年に引き続き赤字ではあるが、光熱水費等を指定管理者の努力で抑え赤字幅を圧縮している努力が見えることから、更なるアイデアで自主事業を増やしていくことで、改善ができるものと期待する。 今後においては、センターが地域住民の生涯学習活動及び芸術文化活動の振興に資すること、また使用を通じて地域住民の社会参加を促し福祉の向上が図られることを主な目的として設置された施設であることを念頭に、施設利用者や来館者からのアンケート等から市民ニーズの把握に努め、魅力的な自主事業の実施によりセンターの利活用が促進されるよう努力されたい。
----------	---